

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●大阪杯ではボタジェがG I 初制覇を果たす

4月3日(日)に行われた大阪杯(G I)では単勝8番人気・単勝オッズ58.7倍のボタジェ(牡5歳/栗東・友道康夫厩舎)が勝利、重賞初制覇をG Iの大舞台で果たしました。

●西塚洸二騎手がJ R A初勝利をあげる

4月2日(土)の3回中山3日・第12レースではフリーズメーカーが1着となり、同馬に騎乗した西塚洸二騎手(美浦・鹿戸雄一厩舎)は、J R A初勝利(23戦目)をあげました。

●池添謙一騎手がJ R A通算1300勝を達成

4月2日(土)の2回阪神3日・第5レースではディパッセが1着となり、同馬に騎乗した池添謙一騎手(栗東・フリー)は、史上27人目、現役では13人目となるJ R A通算1300勝(1万3928戦目)を達成しました。

●タイムフライヤー、マルシュロレーヌらの競走馬登録抹消

2017年ホープフルS(G I)などの勝ち馬タイムフライヤー(牡7歳/栗東・橋口慎介厩舎/J R A通算29戦5勝・地方1戦0勝)、2021年ブリーダーズCディスタフ(米G1)などの勝ち馬マルシュロレーヌ(牝6歳/栗東・矢作芳人厩舎/J R A通算14戦4勝・地方6戦4勝・海外2戦1勝)、2019年フジテレビ賞スプリングS(G II)の勝ち馬エメラルファイト(牡6歳/美浦・相沢郁厩舎/J R A通算22戦3勝)、2020年ターコイズS(G III)などの勝ち馬スマイルカナ(牝5歳/美浦・水野貴広厩舎/J R A通算18戦5勝)、2021年ローレル競馬場賞中山牝馬S(G III)の勝ち馬ランプリングアレー(牝6歳/栗東・友道康夫厩舎/J R A通算20戦6勝)は、3月23日(水)までに競走馬登録を抹消されました。マルシュロレーヌは北海道苫小牧市のノーザンファーム空港、スマイルカナは北海道新冠町のビッグレッドファーム、ランプリングアレーは北海道千歳市の社台ファームで繁殖馬となる予定。タイムフライヤーは地方・川崎競馬、エメラルファイトは地方・船橋競馬に移籍しました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●シャルフジンが京浜盃(大井)を逃げ切る【各地の主要3歳重賞】

京浜盃(3月30日、大井、1700m)は、先手を取った1番人気の北海道から船橋への移籍馬シャルフジン(牡、父ヘニーヒューズ)が、後続をクビ差振り切って重賞3勝目をあげましたが、1コーナーでの進路妨害のため、御神本訓史騎手は2日間の騎乗停止となりました。兵庫ユースC(3月10日、園田、1400m)は、逃げたパウチェイサー(牡、父エスポワールシチー)が2着馬を6馬身引き離し、単勝1.4倍の支持に応じてゴールドジュニア(笠松)に続く重賞2連勝。土佐春花賞(3月21日、高知、1300m)は、2番手から4コーナーで先頭に立った単勝1.4倍で圧倒的人気の黒潮ジュニアチャンピオンシップの覇者マリンスカイ(牡、父グランプリボス)がそのまま押し切り、高知では5戦して負け知らずです。スプリングC(4月3日、水沢、1600m)は、冬場大井に一時移籍していた単勝1.6倍で断然人気のクールキック(牡、父ストロングリターン)が直線半ばで抜け出して4馬身差で楽勝、寒菊賞に次ぐ重賞制覇を果たしています。

●ショウナンナデシコらが出走、4月13日のマリーンC(船橋)

マリーンC(Jpn III、4月13日、船橋、1600m)は、距離短縮が鍵も、エンプレス杯からの重賞連勝を目指すショウナンナデシコが筆頭格、以下サルサディオオーネ(大井)、レーヌブランシュ、レディバグ、メモリーコウ(大井)、ダノンレジーナ(浦和)の順に有力視され、クールキャットは初のダートが課題となりそうです。

※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G 1 オーストラリアンダービー～モーリス産駒のヒトツが優勝

現地時間4月2日にオーストラリアのランドウィック競馬場で行われたG 1 オーストラリアンダービー(3歳、芝2400m)は、J. アレン騎手を背に中団でレースを進めたモーリス産駒のヒトツ(牡3歳、C. マー&D. ユースタス厩舎)が、直線での3頭による競り合いを0.36馬身差で制して優勝しました。ヒトツは昨年10月のG 1 ヴィクトリアンダービー(芝2500m)で重賞初制覇を果たすと、それ以来の休み明けだった今年3月の前走G 1 オーストラリアンギニー(芝1600m)も連勝。今回の勝利でG 1・3連勝となりました。なお、ヴィクトリアンダービーとオーストラリアンダービーのダブル制覇は、オーストラリアンダービーが現地の秋シーズンに行われるようになった1978/79年シーズン以降では、ダルシファイ(1978/79年)、マホガニー(1993/94年)に続く史上3頭目の快挙です。

●G 1 フロリダダービー～ホワイトアバーリオが重賞連勝

アメリカ・フロリダ州のガルフストリームパーク競馬場で4月2日に行われたG 1 フロリダダービー(3歳、ダート1800m)はT. ガファリオン騎手が騎乗したホワイトアバーリオ(牡3歳、父レースデー、S. ジョセフJr. 厩舎)が優勝。2月のG 3 ホーリーブルS(ダート1700m)に続く重賞連勝で、G 1 初制覇を果たしました。